

## 第22期国語審議会 現代社会における敬意表現（概要）

### 〔敬意表現の提唱〕

国語審議会は、現代社会の言葉遣いの在り方を考える上で重要な概念として「敬意表現」を提唱する。

敬意表現とは、コミュニケーションにおいて、相互尊重の精神に基づき、相手や場面に配慮して使い分けている言葉遣いを意味する。

それらは相手の人格や立場を尊重し、様々な表現から適切なものを自己表現として選択するものである。

### 〔敬意表現と敬語の関係〕

敬語はこれまで注目されてきたものだが、敬意表現は敬語だけでなく、それを含む広い範囲の言葉遣いである。そのことを表すため、「敬意表現」という新しい言い方を用いることとした。

### 〔国語審議会への諮問との関係〕

国語審議会は、平成5年11月、第20期の冒頭において、文部大臣から諮問された「新しい時代に応じた国語施策の在り方について」のうち「言葉遣いに関すること」について、ここに「現代社会における敬意表現」として答申する。

都市化、国際化、情報化、少子高齢化などの社会変化は、人々の言語生活にも影響を与え、価値観や暮らしぶりの多様化に並行して言葉遣いも多様化している中で円滑なコミュニケーションをいかに図るかが求められている。国語審議会は、言葉遣いの多様な様相を把握しつつ、言葉遣いのあるべき姿について検討した結果、コミュニケーションを円滑にするものとして敬意表現が重要であると考えに至った。すなわちここに、敬意表現を中心とする言葉遣いの在り方について見解を示すものである。

### 〔言葉遣いに関する基本的な認識〕

第20期国語審議会は、平明で、的確で、美しく、豊かであることを言葉遣い全体の理想的な姿と位置付けた。しかし、現実にはそのような理想的な姿が実現されているとは言い難く、世論調査を見ても、言葉が乱れていると思っている人がかなり多いのが現状である。

言葉は個人のものであると同時に、社会全体のものである。人々が相互により良い人間関係を築くためには、相手や場面にふさわしい言葉遣い、とりわけ敬意表現を適切に用いていくことが大切である。

## [敬意表現の例]

本を借りたいとき、親しい人には例えば「その本、貸してくれない↑」などと言うことがある。敬語は使っていないが、「～てくれる」という恩恵を表す言葉、「～ない」という否定の言い方と語尾を上げることで相手への配慮を表している。また、親しくない人には、例えば「御本を貸していただけませんか」などと言う。相手の本なので「御（ご）」を付け、「～ていただく」という敬語を使って配慮を表している。これらの言い方が敬意表現の一例である。

このほか、場面や相手の状況に応じて加える配慮の言葉として「ちょっといい↑」、「悪いけど」などの予告や前置きの言葉、「図書館で見付からなかったの」などの理由を説明する言葉などがある。

敬意表現には、定型のもの（敬語、あいさつの言葉、決まり文句など）のほか、非定型のもの（話し手が随時工夫する言葉遣い）もあり、また、音調などによるものもある。

## [敬意表現は何に配慮するものか]

敬意表現は、様々な配慮に基づいて行われる。それらは、人間関係に対する配慮、場面に対する配慮、伝える内容に関する配慮、相手の気持ちに対する配慮、自分らしさを表すための配慮などである。

どのような言葉遣いをするかによって、話し手が、相手や場面をどうとらえたかが伝わるものである。話し手の言葉遣いの選択は、結果として自分の態度、立場、人格を表すものである。

## [敬意表現の運用]

敬意表現は従来我々が使ってきたものであり、特に新しい言葉遣いについて言っているのではない。その良いものに注目し、「敬意表現」という名称を与えることにより、様々な配慮にかかわる言葉遣いが意識化されることに意味があると考えられる。

敬意表現は場面に応じて過不足なく使うことが大切である。敬意表現は言葉の形によってだけでなく、相手、場面に応じているかどうかによってその適否が決まる言葉遣いである。

敬意表現を用いるに際しては、その場における相手の立場を勘案することが重要である。敬意表現を用いる側は適切な言葉を選び、それを受ける側は、相手を思いやって寛容に受け入れる必要がある。

## [敬意表現習得の場]

敬意表現の習得は、家庭、社会、学校、マスメディアといった敬意表現の使われている環境の中で、意識的あるいは無意識的に行われている。敬意表現は、人間関係の把握や場面理解を前提とするため、成人してからも日々体験的に習得される。一人一人がまわりの敬意表現を内省しつつ、言語感覚を磨くことによって、豊かな敬意表現を身に付けていくものである。このことは、言語環境をいかに整えるかという問題とも密接にかかわっていると見えよう。

# 1 敬語の必要性（平成15年度・文化庁『国語に関する世論調査』）

## （1）敬語の必要性＜問5＞

— 今後とも「必要だと思う」人が圧倒的 —

今後とも敬語は必要だと思うかを尋ねた。結果は以下のとおり。

「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」を合わせた「必要だと思う（計）」が96.1%で、ほぼ全員の回答者が敬語の必要性を認めている。

必要だと思う	.....	67.8%	「必要だと思う（計）」
ある程度必要だと思う	.....	28.3%	
余り必要だとは思わない	.....	2.6%	「必要だと思わない（計）」
必要だとは思わない	.....	0.7%	

## （2）敬語が必要だと思う理由＜問5・付問1＞

— 20代以下では、「けじめを付けることができるから」が1位 —

問5で敬語が「必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた人に、その理由を尋ねた。（二つまで選択可。）結果は以下のとおり。（「その他」「分からない」は省略。）

相手を尊敬する気持ちを表せるから	.....	66.8%
相手と自分の立場をはっきりとさせて、 けじめを付けることができるから	.....	50.2%
表現がやわらかく、人間関係を円滑に することができるから	.....	46.1%
表現が美しく上品になるから	.....	12.6%

年齢別に割合を示すと以下のとおり。「相手を尊敬する気持ちを表せるから」が、すべての年代で5割を超え、特に50代以上では7割台となっている。20代以下では、「相手と自分の立場をはっきりとさせて、けじめを付けることができるから」の割合が「相手を尊敬する気持ちを表せるから」の割合よりも高く、6割以上となっている。

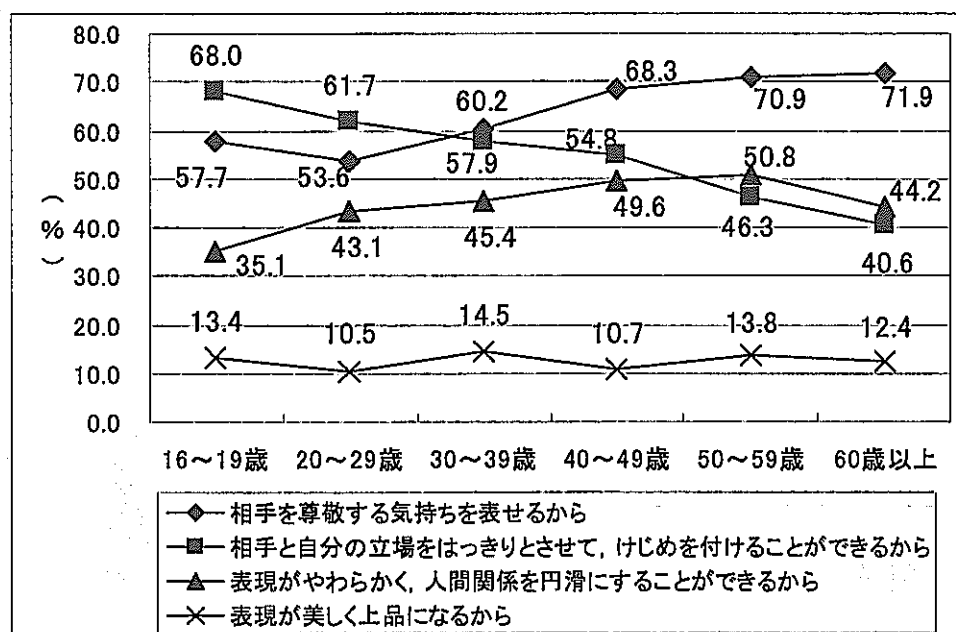
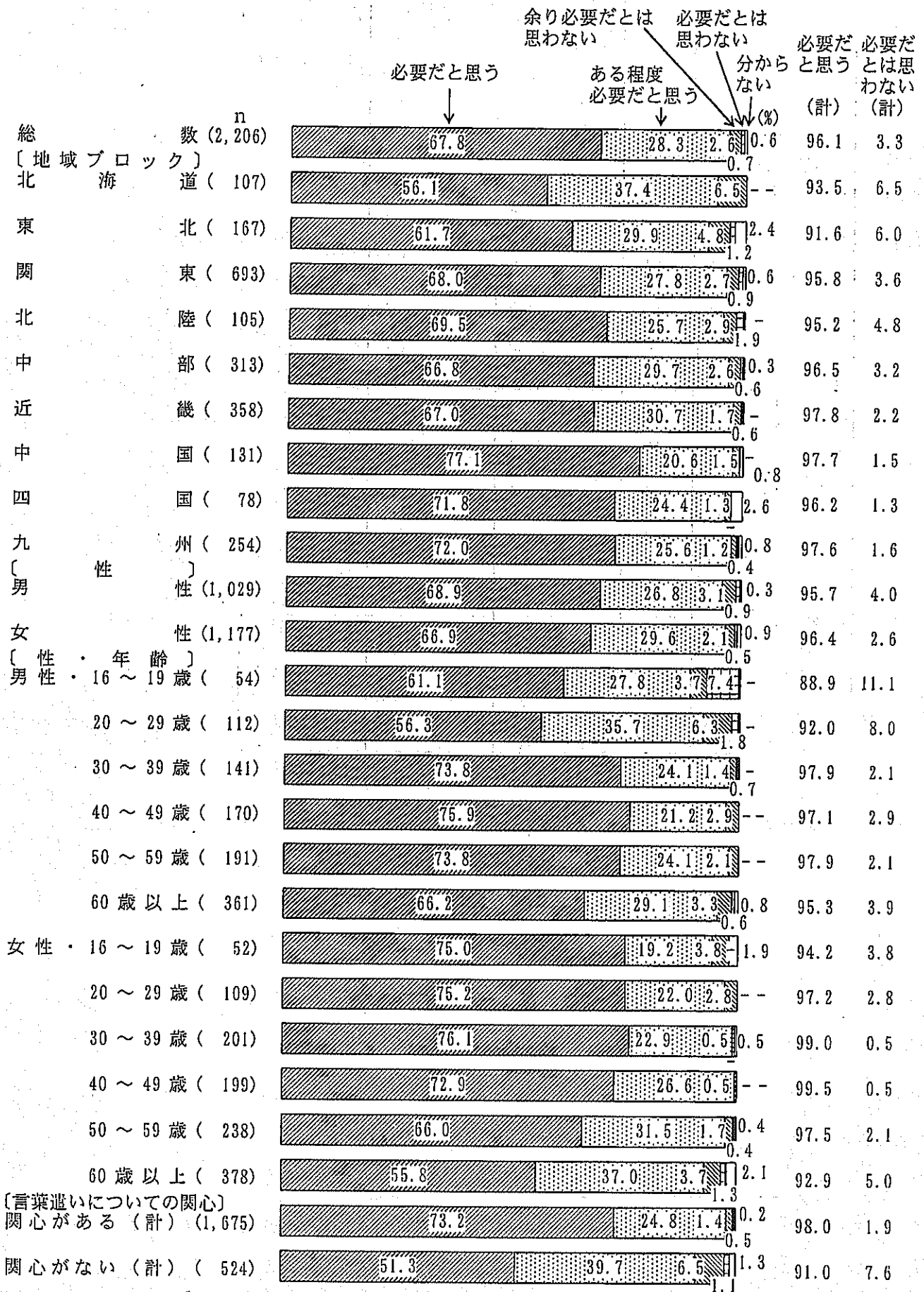


図3 敬語の必要性（地域ブロック別，性別，性・年齢別，言葉遣いについての関心別）



## 2 気になる言い方（平成15年度・文化庁『国語に関する世論調査』）

### （1）気になる言い方＜問7＞（P26）

— 8年前に比べて、ほとんどの言い方で「気になる」が増加 —

七つの言い方を挙げ、気になるかどうかを尋ねた。平成7年度調査と併せて結果を表にすると以下のとおり。（「分からない」は省略。）平成7年度調査と比べると、「とんでもありません」を除いて、いずれの言い方とも「気になる」の割合が増加し、「気にならない」の割合が減少している。特に「先生、こちらでお待ちしてください」「お客様が申されました」については、「気になる」の割合が10ポイント以上増加している。なお、「気になる」の割合にほとんど変化のない「とんでもありません」も「気にならない」の割合は10ポイント減少している。

（数字は％）

		気になる	気にならない	どちらとも言えない
先生、こちらで <u>お待ちしてください</u>	平成15年度	66.0	24.7	8.1
	平成7年度	55.6	41.0	2.4
お客様が <u>申されました</u>	平成15年度	54.1	33.1	11.4
	平成7年度	41.4	54.2	2.9
<u>とんでもありません</u>	平成15年度	17.8	68.3	12.8
	平成7年度	17.9	78.7	2.3
お客様が <u>お見えになった</u> ※	平成15年度	29.9	60.0	9.3
	平成7年度	—	—	—
3時に <u>御出発される</u> 予定です	平成15年度	44.0	43.0	11.8
	平成7年度	35.4	60.8	2.7
先生が <u>おっしゃられた</u> ように	平成15年度	28.2	62.3	8.5
	平成7年度	24.5	71.9	2.5
お客様、どうぞ <u>いただいて</u> ください	平成15年度	66.8	23.8	8.3
	平成7年度	62.5	34.4	2.0

※平成7年度調査にはなかった設問。

表11 気になる言い方（「先生、こちらでお待ちしてください」など）（地域ブロック別、性別、性・年齢別、言葉遣いについての関心別、敬語の必要性別）

n	(1) 先生、こちらでお待ちしてください		(2) お客様が申しました		(3) とんでもございません		(4) お客様がお見えになった		(5) 3時に御出発される予定です		(6) 先生がおっしゃられたように		(7) お客様、どうぞよろしくお願いいたします	
	気になる	気にならない	気になる	気にならない	気になる	気にならない	気になる	気にならない	気になる	気にならない	気になる	気にならない	気になる	気にならない
総数	66.0	24.7	54.1	33.1	17.8	68.3	29.9	60.0	44.0	43.0	28.2	62.3	66.8	23.8
【地域ブロック】														
北海道	57.9	30.8	48.6	37.4	21.5	65.4	32.7	58.9	43.0	49.5	37.4	54.2	58.9	31.8
北東北	61.1	23.4	46.1	38.3	16.8	68.3	29.9	55.1	41.9	39.5	31.1	58.7	62.9	25.7
関東	68.0	24.1	59.9	28.7	19.8	68.0	33.5	56.9	44.7	41.7	30.4	60.9	73.3	19.0
北陸	56.2	36.2	61.0	29.5	22.9	60.0	27.6	57.1	38.1	51.4	28.6	58.1	64.8	27.6
中部	71.6	18.8	54.6	30.7	13.4	70.9	28.8	62.0	43.1	43.1	23.0	66.8	67.1	23.3
近畿	70.9	19.3	55.9	32.1	17.3	67.9	27.1	62.6	44.7	43.3	26.5	65.9	67.9	22.9
中国	61.8	29.8	42.0	38.9	16.8	64.9	30.5	57.3	35.1	48.1	21.4	67.2	58.0	32.1
四国	56.4	30.8	39.7	46.2	19.2	66.7	16.7	78.2	61.5	26.9	24.4	66.7	56.4	20.5
九州	63.0	30.3	50.8	38.6	15.4	73.2	29.1	63.0	45.3	44.5	29.9	59.4	61.8	28.7
【性別】														
男性	58.6	31.0	52.5	35.7	19.5	67.9	27.0	63.3	45.6	43.2	31.2	60.1	63.8	26.8
女性	72.6	19.2	55.6	30.8	16.2	68.6	32.5	57.1	42.6	42.8	25.7	64.3	69.5	21.1
【年齢】														
16～19歳	50.0	44.4	50.0	38.9	25.9	64.8	24.1	64.8	33.3	55.6	24.1	72.2	55.6	35.2
20～29歳	56.3	27.7	51.8	33.9	20.5	70.5	21.4	66.1	41.1	48.2	21.4	70.5	62.5	25.9
30～39歳	66.7	22.7	51.8	33.3	17.7	68.8	24.8	66.0	41.8	46.1	27.0	63.8	74.5	17.7
40～49歳	70.0	21.2	59.4	34.1	18.2	70.6	31.2	61.8	49.4	39.4	32.4	58.8	70.0	24.1
50～59歳	67.5	25.1	54.5	33.5	19.4	68.1	33.5	59.7	47.6	42.4	35.1	56.0	67.0	21.5
60歳以上	47.4	41.0	49.0	38.5	19.7	65.9	24.7	63.7	47.4	41.0	34.3	56.2	56.5	33.5
女性・16～19歳	50.0	38.5	32.7	55.8	13.5	73.1	28.8	59.6	28.8	51.9	17.3	73.1	65.4	23.1
20～29歳	75.2	13.8	56.9	26.6	14.7	67.9	32.1	56.0	46.8	41.3	22.9	70.6	78.9	15.6
30～39歳	86.1	8.5	58.2	29.9	14.9	68.2	27.9	59.7	41.8	39.8	19.9	69.2	79.6	12.9
40～49歳	89.4	6.0	64.8	23.6	15.1	68.3	29.6	60.8	45.7	39.7	26.1	62.3	81.9	13.1
50～59歳	79.8	15.1	55.0	31.9	14.7	71.4	40.3	50.4	46.6	42.9	27.3	64.3	71.4	19.7
60歳以上	54.2	33.3	52.4	32.3	19.3	66.7	32.0	57.9	39.4	45.2	29.4	59.8	54.2	31.7
【言葉遣いについての関心】														
関心がある（計）	71.8	21.0	57.6	30.8	18.1	67.6	31.5	59.1	45.9	42.4	28.7	62.6	71.5	21.2
関心がない（計）	48.7	36.5	43.9	40.5	16.6	70.4	25.2	63.0	38.2	45.0	26.9	61.8	52.3	31.9